

都道府県名	千葉県
-------	-----

I 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	船橋市立峰台小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	1	19	27
児童数	106	113	109	90	83	94	7	602	

II 研究の概要

1. 研究主題

わかる喜び・学ぶ喜びから確かな学力を身につけるための指導の工夫

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

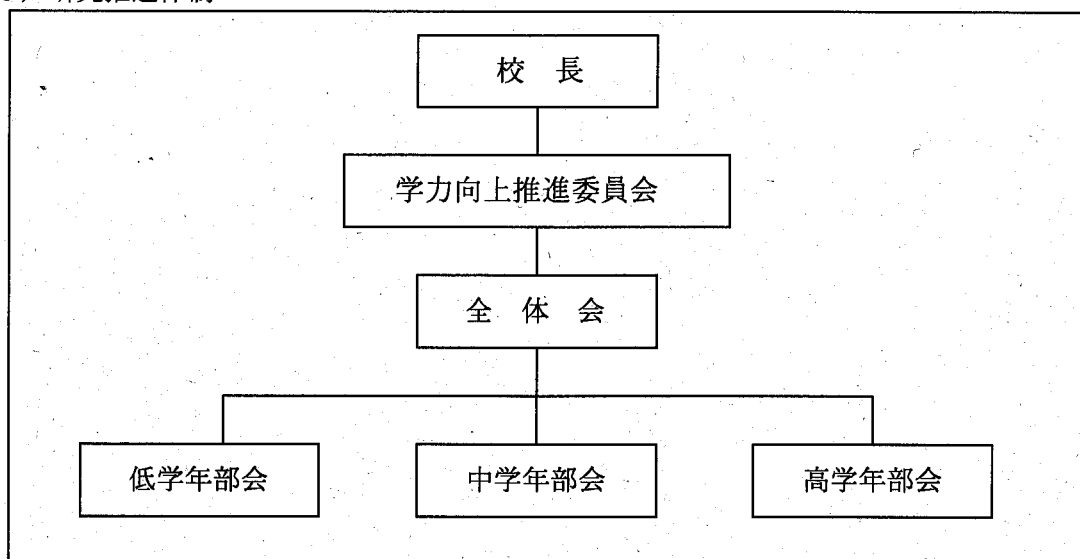
全学年 算数科
 理解や習熟の程度に応じて配慮が必要であり、基礎基本の確実な定着を図ることが大切な教科であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ わかる喜び・学ぶ喜びから確かな学力を身につけるための指導の工夫 ○ 研究の見通し（仮説） ○ 研究の内容・方法 <ul style="list-style-type: none"> ・チーム・ティーチングにより個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。 ・少人数指導による学び合い授業の実践を進める。 ・少人数指導による習熟度別授業の実践を進める。 ・授業参観、保護者会、学校だより等により地域・家庭への啓発を図る。 ・年間指導計画の見直しを図る。 ・教材・教具の整備をする。
--------	---

平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ わかる喜び・学ぶ喜びから確かな学力を身につけるための指導の工夫 ○ 研究の見通し（仮説） 子ども一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を工夫すればわかる喜び・学ぶ喜びを味わい確かな学力が身につくだろう。 ○ 研究の内容・方法 <ul style="list-style-type: none"> ・T・T及び少人数指導における児童の実態に応じた指導法や指導体制の確立をめざし授業実践を行う。 ・評価カードの工夫と活用をする。 ・児童の興味関心を高めていく教材・教具の工夫と活用をする。
--------	---

(3) 研究推進体制



Ⅲ 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

<ティーム・ティーチングによる指導の成果>

- ・2人で指導することにより児童一人一人のノートなど、細かいところまで指導することができる。
- ・全体指導を中心に行うT1と個別指導を中心に行うT2の役割分担をはっきりさせて指導することにより学級全体に適切な支援が行える。
- ・2人の指導者で児童をみることにより学習した内容がどのくらい理解できたか把握しやすい。
- ・教材・教具を生かし、具体物を操作することにより楽しく学習をすることができ、基礎基本の定着を図ることができる。

<少人数指導による成果>

- ・少人数のため一人一人に目が届き、実態に応じた適切な指導助言ができる。
- ・少人数のため1人分の教具を十分確保することができる。
- ・1人ずつの発表や板書など表現活動の時間が多くとれる。
- ・理解できないことがある時に進んで質問する姿が多く見られる。

<習熟度別指導による成果>

- ・習熟度別指導（コース別）により児童の理解度や学習速度に応じた指導ができる。
- ・それぞれのコースにあった指導方法を工夫することにより算数の苦手な児童も楽しんで学習をする姿が多く見られるようになってきている。また意欲的に手を挙げたり発表したりする児童が増えてきている。

2. 今後の課題

〈授業実践〉

児童一人一人に応じた指導法や指導体制をどのように工夫していったらよいか授業実践を通して明らかにする。

- ・わかる喜び・学ぶ喜びが味わえる授業実践をする。

〈自己評価〉

児童自ら学習した内容が理解できたかどうか自己評価をする授業形態の工夫が必要である。

- ・自己評価を取り入れた授業形態の実践をする。
- ・学習意欲が高まるための自己評価の方法や内容を取り入れる。

〈保護者への啓発〉

保護者への説明責任や情報提供を学校としてどのようにしていくか。

- ・保護者会で少人数学習の取り組みの実践を知らせる。
- ・授業参観において、少人数学習の実践を行い保護者の理解を得る。また、懇談会において情報の提供をする。
- ・学校日より等で全家庭に少人数学習の取り組み状況を知らせる。

〈時間の確保〉

担任と学力向上担当教員とで教材研究や共通理解をする時間の確保が必要である。

- ・行事予定の見直しをする。
- ・少人数学習を年間指導計画の中に取り入れ、全学年を通して計画的な実践を行う。

IV 学力等把握のための学校としての取組

- 平成16年2月20日（金） 第5学年 算数

船橋市学力状況調査をする。

学力状況調査の結果を児童の実態把握の1つとして次年度の研究に生かす。

V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 平成15年11月11日～11月14日まで

高崎市立倉賀野小学校より県外研修にて来校

本校の少人数学習の取り組みの実践を参観する。

研究の取り組み状況と成果及び課題を作成し説明をする。

- 平成15年度 学力向上フロンティアスクール研究のまとめをホームページ上で公開をする予定

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 1 5 年度からの新規校 1 4 年度からの継続校

【学校規模】 6 学級以下 7 ~ 1 2 学級
 1 3 ~ 1 8 学級 1 9 ~ 2 4 学級
 2 5 学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無